

登録コード	TSC07500	開講年度	2026				
授業科目	分子集合体化学特別実験					担当教員	奥村 幸久
英文授業名	Supramolecular Chemistry Laboratory 1					副担当	佐伯 大輔
単位数	2	講義期間	不定期	曜日・時限	集中・不定期		対象学生
講義室				授業形態	実験	備考	
信大コンピテンシー 該当							
(1)授業の達成目標	【授業で得られる「学位授与の方針」要素】				【授業の達成目標】		
	2 6 TSカリ, 2 5 TSカリ, 2 4 TSカリ, 2 3 TSカリ						
	【専攻】環境調和社会, 知識基盤社会を多様に支える工学分野の高度な専門知識と実践的技術力				環境調和社会を構築し維持するのに必要と考えられる分子集合体に関する実践的技術力を身につけ, 様々な課題の解決への手がかりとすることができるようになる.		
(2)授業の概要	特別研究における目的を達成するための研究実験を計画および実施する.						
(3)授業計画	詳細は指導教員が説明する. 1 . 授業についての説明 2 - 7 . 研究実験の準備, 資料収集, 計画 8 . 指導教員との面談(準備に関する評価と実施計画の承認) 9 - 1 8 . 研究実験の実施 1 9 . 指導教員との面談(中間評価) 2 0 - 2 9 . 研究実験の実施 3 0 . 指導教員との面談(最終評価) 毎週実施する. 授業アンケートがあれば実施する.						
(4)成績評価の方法	成績は準備計画等(30%程度)および実施・進捗状況(70%程度)を実験ノートおよび面談等に基づいて評価し, 60点以上を合格とする. 評定は信州大学の基準に従い5段階にておこなう.						
(5)成績評価の基準	科目の達成目標に最低限達していれば「水準にある」, おおよそ達していれば「やや上にある」, 十分に達していれば「かなり上にある」, ほぼ完全に達していれば「卓越している」とする.						
(6)事前事後学習の内容	実験計画を立てる. 適切な実験ノートを作成する. 実験の実施後は結果について考察する.						
(7)履修上の注意	履修にあたっては科目担当教員および指導教員の了解が必要である.						
(8)質問,相談への対応	随時受け付ける.						
(9)その他							
【教科書】	指定しない.						
【参考書】	指定しない.						